

付録1：経営現象の分析に QCA を用いた日本の研究（日本語で書かれた論文・書籍、学会発表要旨やそれに類するものは含めていない）

- 東伸一(2017)「日本の飲食店チェーンの盛衰に関する QCA(質的比較分析：Qualitative Comparative Analysis)を用いた探索的研究」『日本フードサービス学会年報』22, 52-65.
- 河合美香・那須清吾・豊田裕貴(2017)「日本企業のデジタルトランスフォーメーションの質的比較分析による研究」3(1), 21-31.
- 小本恵照(2019)「スタートアップ企業の業績決定要因—質的比較分析 (QCA) によるアプローチ」『日本経営学会誌』42, 40-51.
- 近藤浩之(2017)「商品情報比較サイトが銘柄間非価格競争に及ぼす影響：質的比較分析 (QCA) による再吟味」『東京経大会誌 (経営学)』294, 65-82.
- 近藤浩之(2018)「企業ブランドとカスタマーレビューが個別銘柄間競争に及ぼす影響—質的比較分析(QCA)による考察」『東京経大会誌 (経営学)』298, 41-57.
- 服部泰宏・矢寺顕行(2018)『日本企業の採用革新』中央経済社。 ※第6章
- 横山斉理(2017)「食品スーパーにおける顧客満足の規定要因：fsQCA アプローチ」『組織科学』51(2), 14-27.
- 横山斉理(2019)『小売構造ダイナミクス：消費市場の多様性と小売競争』有斐閣。
※第6章
- 李楊(2015)「中国アパレル専門店の業態革新の源泉：質的比較分析によるアプローチ」『市場創造研究』4, 31-42.
- ※英語圏での QCA を用いた経営学における研究については以下のレビューを参照：
Misangyi, V. F. et al. (2017). Embracing Causal Complexity: The Emergence of a Neo-Configurational Perspective. *Journal of Management*, 43(1), 255–282.

付録2：QCA を知るための日本語リソース（主要なもの）

(1)書籍

- Rihoux, B. & Ragin, C. C. (Eds.) (2009). *Configurational comparative methods: Qualitative Comparative Analysis (QCA) and related techniques*. Los Angeles: Sage. (石田淳・齋藤圭介 (監訳)『質的比較分析(QCA)と関連手法入門』晃洋書房, 2016年)
- 田村正紀(2015)『経営事例の質的比較分析：スモールデータで因果を探る』白桃書房.
- 石田淳(2017)『集合論による社会的カテゴリー論の展開：ブール代数と質的比較分析の応用』勁草書房.
- 鹿又伸夫・野宮大志郎・長谷川計二(編)(2001)『質的比較分析』ミネルヴァ書房.
- Ragin, C. C. (1987) *The comparative method: Moving beyond qualitative and quantitative strategies*. Berkeley, CA: University of California Press. (鹿又伸夫 (監訳)『社会科学における比較研究：質的分析と計量的分析の統合にむけて』ミネルヴァ書房, 1993年)

(2)論文

齋藤圭介(2017)「質的比較分析 (QCA) と社会科学の方法論争」『社会学評論』68(3), 386-403.

森大輔(2017)「質的比較分析(QCA)のソフトの使用方法 :fs/QCA と R の QCA・SetMethods
パッケージ(1)」『熊本法学』140, 250-209.

森大輔(2017)「質的比較分析(QCA)のソフトの使用方法 :fs/QCA と R の QCA・SetMethods
パッケージ(2)」『熊本法学』141, 388-348,

石田淳(2010)「テーマ別研究動向(質的比較分析研究〔QCA〕)」『社会学評論』61(1), 90-99.

(3)ウェブサイト

質的比較分析(QCA)ウェブサイト:<http://park18.wakwak.com/~mdai/qca/>

※(2)に森大輔氏（熊本大学）作成。QCA の用語集、fsQCA をはじめとしたソフトウェアへのリンク、ソフトウェアのマニュアルの日本語訳、QCA に関する最大のリソースサイトである COMPASS (<http://compasss.org/>) へのリンクなどが含まれています。